

【駐輪機施行要領書】

1. 機材の確認

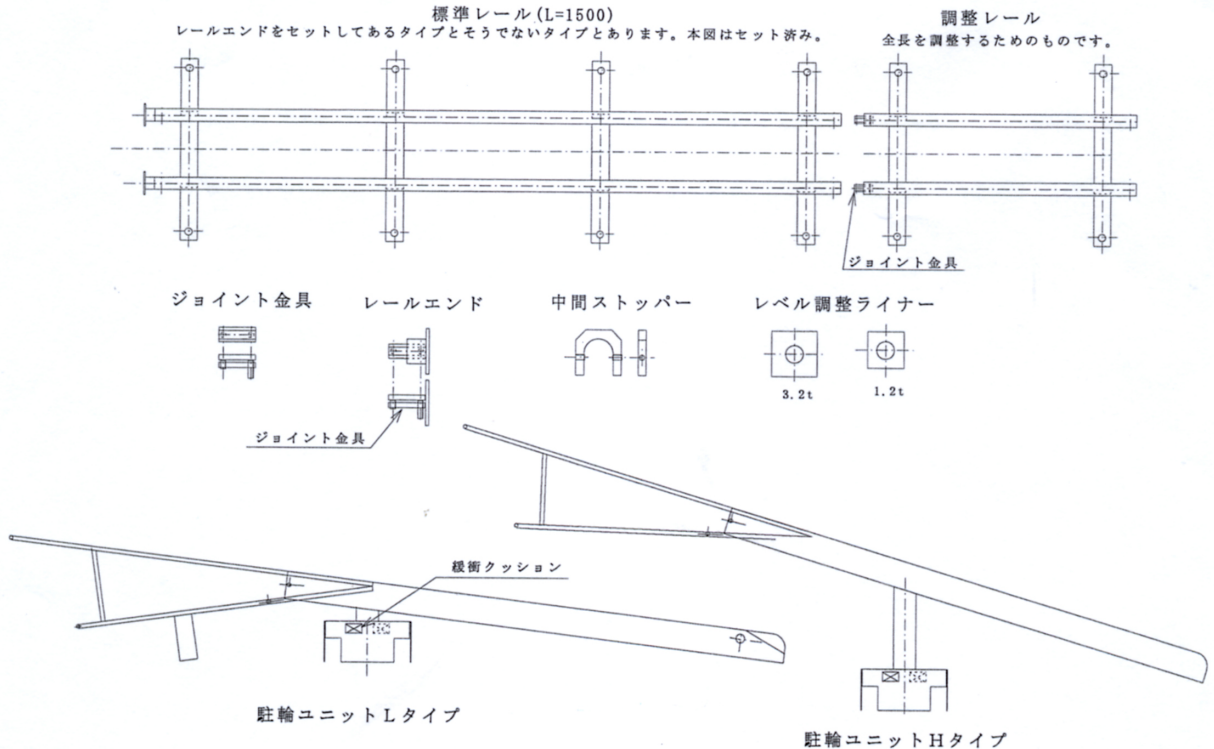
施工者が準備するもの

- ① ハンマードリル(コンクリートドリルφ10.5 M10オールアンカー穴あけ用)
- ② 電動ドライバー (ストッパーをドリルピスで固定する場合)
- ③ 17mm 19mmスパナ等
- ④ 3mm六角レンチ(L型) (中間ストッパー固定用)
- ⑤ 10mmBOXレンチ (ジョイント締め込み用・背の低いものがが必要です) 又は10mmスパナ
- ⑥ 水平器
- ⑦ スケール
- ⑧ 水糸
- ⑨ ハンマー(3ポンド以上)
- ⑩ コードリール(100Vの電源)
- ⑪ ウェス、掃除用具

出荷基本セット

- ① レール1式(標準レール L=1800、調整レール、ジョイント金具付) 図1 参照
- ② レールエンド (1ラインに付2式) 図1 参照
- ③ 中間ストッパー(図面上必要に応じて)
- ④ 調整ライナー(アンカー穴1ヶに付、1ライン5M未満3.2t 2枚、1.2t 2枚、1ライン5M以上3.2t 3枚、1.2t 2枚)
- ⑤ 駐輪ユニット1式
- ⑥ アンカーボルト(オールアンカーC-1060ドブメッキ、アンカー穴数)
- ⑦ 予備ジョイント金具1式
- ⑧ 予備クッション(ユニット数の10%)

図1



2. 機材の搬入

① 搬入スペースの確保

(1) 設置エリア内に障害物がないようにして下さい。

既存駐輪場の場合、自転車を作業及び通行に支障のない場所へ移動して下さい。

2列以上ある現場では、1列ずつ完成させて下さい。

(2) 設置箇所には、出来るだけ機材を置かないよう、通路部分に搬入して下さい。

② 搬入 レール・駐輪ユニット・工具類を建物等に接触しないよう注意しながら搬入します。

(1) 100Vの電源を確保してください。

3. レールの設置

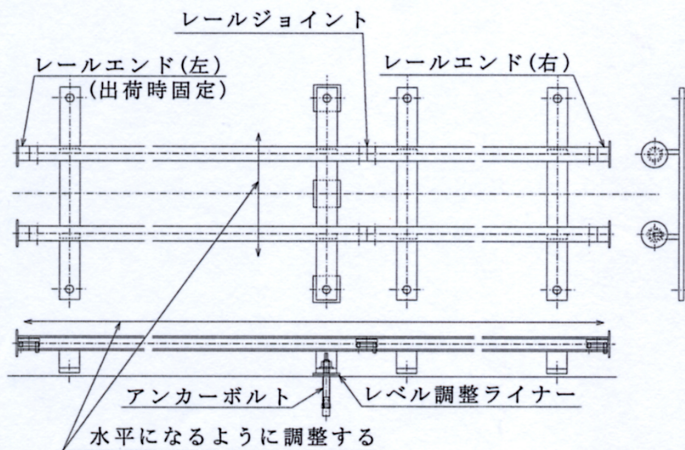
① 仮置き

(1) 平面図に従ってレールを配置していきます。

(2) 全体の配置に間違いが無いが平面図と確認した後、レールのジョイント部を挿入していきます。

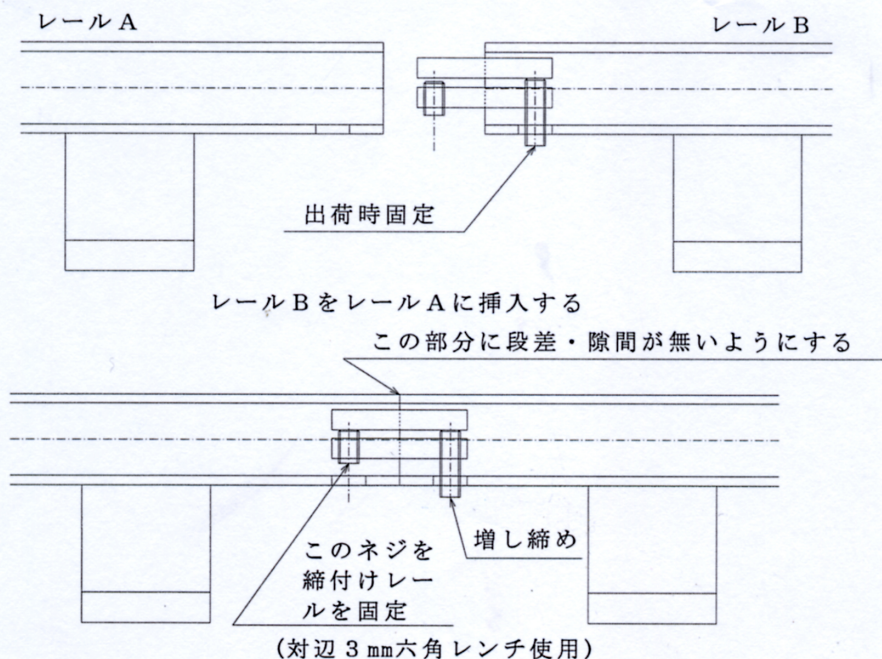
(3) ジョイント部挿入に際し、入りにくい場合は、ジョイント金具固定セットボルトを3mm六角レンチを用いて少し緩めてください。

図3



② レールのジョイント

隙間・段差の生じないようにしっかりと挿入し、固定していきます。



③ 位置の確認

- (1) 設置エリア壁からの位置を確認し、レールを正規位置に置きます。
- (2) ラックユニットを通して見て、先端が壁に当たらないことを確認して下さい。
- (3) 水平器を置き、一番高い部分を確認して下さい。(レーザーレベルがあると便利です)
- (4) 床勾配がある場合、ある程度のライナーを置いて仮レベルを調整して下さい。

④ アンカー穴切削

- (1) レベルの一番高いベースからアンカーを固定いたします。
- (2) レールのアンカー穴をゲージとし、安全に注意しながら下穴を開けてください。掃除機があれば、粉塵を吸い込みながら行うと良いでしょう。
- (3) 適宜、アンカーボルトを挿入し、振動によるずれの無いことを確認して下さい。
使用コンクリートドリル $\phi 10.5$ 深さ 50mm以上

⑤ レベル調整

- (1) レールの上に乗って荷重をかけた状態でレベル確認してください。
- (2) レベル調整ライナーを使って、左右・幅方向の水平を出します。
- (3) 床面勾配により、10mm以上ライナーを挿入しなければならない時は、アンカーボルトを長いものと交換します。
(基本セットでは、L=60のボルトのみです。長さ不足が予想される場合は、事前にご相談下さい)

⑥ アンカーボルト固定

- (1) 平座金・ナットをボルトにセットし、ネジ山が2山程度出た状態で穴に挿入します。
- (2) 3ポンド以上のハンマーで、突出部が完全に沈み込むまで叩き込んでください。後、スパナ等(17mm)で締付けて下さい。

4. 駐輪ユニット挿入

① 平面配置図と照合しながら順番に挿入していきます

② 図面上「H」は、ハイタイプ、「L」はロータイプ

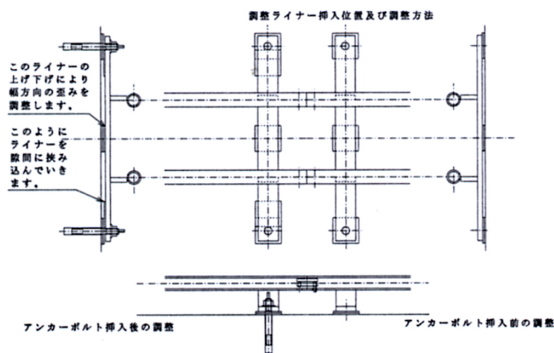
③ 挿入後、「動き」を確認します

- (1) 静止状態で、自然に動き出さないこと。
- (2) ラックの端にて、指一本で軽く動くこと。
- (3) アンカーの締付け具合やライナーの挿入の仕方によっては歪が生じる場合があります。「動き」に問題があれば、微調整を行って下さい。
 - (a) 自然に動き出す時は、水平が出ていません。ライナーで再調整してください。この時、アンカーボルトに差し込んでのライナー挿入はできないので、追加はボルトを避けて行います。
 - (b) 動きが重い時は、レール幅方向の歪が考えられます。レール中心にライナーを挿入して増減して歪を調整してください。(図6参照)

(4) 駐輪ユニットカバーの緩衝クッション確認

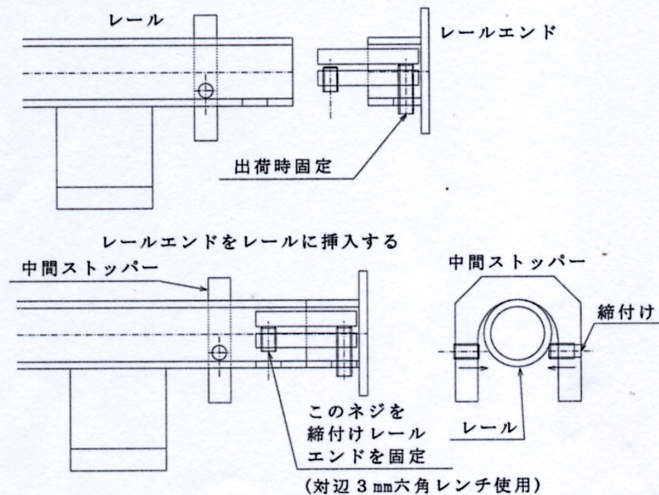
運搬時に緩衝クッションが損傷又は脱离する事がまれにあります。

この場合、予備クッションと交換して下さい。



5. レールエンド・中間ストッパー取付

- ① すべて挿入し終わったらレールエンドを取付けます。
- ② 必要な場合、図面指示に従って中間ストッパーを取付けます。



6. 清掃・後片付け

周辺の掃除はもとより、駐輪機自体の汚れ等も拭き取ります。

7. 確認

最後にもう一度、確認・点検を行ってください。

8. 設置完了